

進路だより 第9号

公立高等学校生徒募集における変更点について

学級数の増減

- △増 旭丘8→9 松蔭8→9 昭和8→9 名古屋西8→9 名古屋南8→9 三好3→4
瑞陵（理数科）0→1 西陵5→6 旭陵（通信制）募集人員 280人→320人
▼減 瑞陵（普通科）8→7 愛知総合工科10→9 若宮商業5→4 明和（夜間定時制）2→1

学科・コースの新設・改編

- 東海樟風 総合ビジネス科・情報科 → 総合情報科
名古屋商業 商業科 → オフィスビジネス科 情報処理科 → IT ビジネス科
愛知総合工科 産業システム科 → 高度技術科 先端技術システム科 → 先端技術科
守山 情報ビジネスコース → 企業連携コース
春日井 コスモサイエンスコース → 理数コース
小牧工科 環境科学科 → 環境科学科・情報デザイン科

全日制単位制に改編

- 守山 多様な選択目的から将来の進路希望や興味・関心に応じて生徒自身が選んで学習できることや、充実したキャリア教育によって、自ら学びに向かい、自己の可能性を伸ばしていくことができる人材の育成を目指す。

新たに設置する学科の内容

学校名	学科名	学科設置の目的
東海樟風 （旧東海商業）	総合情報科	AI、IoT、ビッグデータなどを核とする情報科の進展に対応したデジタル技術を習得し、ICT とビジネスを融合して新たな価値やイノベーションを創出できる、産業界が求める人材の育成を目指す。
若宮商業	未来ビジネス科	経済のグローバル化、情報技術の進歩など経済社会の環境が大きく変わる中、これらのビジネスの変化に対応できるよう、経済、観光、デザイン、会計、情報の5つのキャリアコースを設置して、未来を創造し、社会に貢献できる人材の育成を目指す。
名古屋商業	ワイズビズ初科	会計ビジネス・流通ビジネスの2コースで、ビジネスの諸活動を計数的に把握・処理できる人材やビジネスに関わる知識・技能を実社会で活かせる人材の育成を目指す。
	IT ビジネス科	コンピュータの機能や仕組みを理解し、各種アプリケーションソフトの操作とコンピュータを活用するための知識・技能を備えた、オフィスの情報リーダーとなる人材の育成を目指す。
瑞陵	理数科	普通科のコースでの実績を生かし、理数教科に関する系統的な探究活動を通して、多角的・複合的に事象を捉えて課題を解決する力や、新たな価値を生み出す創造的な力を身に付け、ものづくり産業を含む科学技術分野の研究や開発を支える人材の育成を目指す。

❀ 12/3(金)～8(水)の二者懇談（生徒・担任）で 国立・私立・専修学校の受験校を最終決定します。

生徒には、二者懇談での相談内容について、保護者の方に必ず伝えるよう、指導しております。

進路決定においては、生徒の希望と保護者様の思いが一致していることが大切です。生徒の進路希望について、ご家庭で話し合い、生徒と保護者様の意見を合わせた上で、個人懇談会に参加していただきますよう、お願いいたします。

個人懇談会では、二者懇談で決定した受験校の、出願書類（願書等）を配付し、出願手続きの説明を行います。また、国立・私立・専修学校の推薦受験希望者には、推薦の可否についてお伝えします。

個人懇談会では、お時間が10分程度しかございませんので、進路に関するご相談がある場合は、事前に担任までご連絡ください。

❀ 進路に関する Q&A

Q 公立高校の合格発表の後で、公立と私立のどちらに行くか選べますか？

公立高校に合格したら公立高校に入学することが原則です。公立高校の合格発表は以下の3種類です。

(1) 第1志望校に合格 (2) 第2志望校に合格 (3) 不合格

公立高校は第2志望校であっても、合格したら入学することを前提に出願をしてください。

公立高校に合格して、私立高校に入学しようとする、公立高校の合格辞退の手続きをする必要があり、他の受験生にも不利益が生じる事態となります。合格辞退のないように、私立高校等を含めた志望順位を明確にした上で、公立高校の出願をしてください。

(例) 第1志望 高蔵寺高校 第2志望 春日丘高校 第3希望 春日井東高校

上記の希望状況で、春日丘高校に合格した場合、公立高校は高蔵寺高校を1校のみ受験する。

Q 公立高校が不合格なら、第2次選抜を受検できますか？

第2次選抜に出願できるのは「愛知県内の国公立のいずれかの高等学校を受検し、いずれの高等学校にも合格しなかった者」です。ですので、私立高校に合格した生徒は受検できません。専修学校や岐阜県の私立高校にのみ合格した生徒は出願できますが、各校の入学手続き期限が、第2次選抜の合格発表より前に設定されている学校がほとんどです。

自分の学力や希望に合う学校が、第2次選抜を実施するかはわかりません。第2次選抜があることを前提とした受験校選択は避けるようにしてください。

Q 公立高校の推薦受験のメリット・デメリットを教えてください。

現在の入試制度では、公立推薦受験者も学力検査を受検し、合格発表も一般受験者と同日に行われます。また、推薦受験者には、一般受験者とは別で面接が行われ、「自己の特性について1分間程度で答えること」が求められます。推薦受験者は学力検査対策とあわせて、面接対策にも時間を費やす必要があります。

推薦選抜の合格者選考においては、学力検査の結果は資料として扱われません。表彰を受けるなどの実績をあげている生徒や、面接でのアピールが得意な生徒にとっては、有利にはたらく可能性があります。

推薦選抜の合格者数は、普通科が募集定員の10～15%程度、専門学科が30～45%程度ですので、専門学科では、普通科に比べて、多くの合格者を推薦受験者から選抜します。

❀ お問い合わせについて

進路に関するお問い合わせは、すべて中学校（担任）へお願いします。体験入学・学校説明会等の当日の欠席連絡以外の件で、ご家庭から直接、高校や専修学校に問い合わせることはご遠慮ください。